

杖。今時^ノ儼^ハ而^ニ法^ヲ翳^カ。應^シ持^ス杖^ヲ勿^レ持^テ戒^ヲ。今昔俱^ニ儼^ハ。應^シ俱^ニ持^ス杖^ヲ。今昔俱^ニ平^ハ。應^シ俱^ニ持^ス戒^ヲ。取捨得^テ宜^キ不^レ可^ニ一^ニ向^ス等^云云。汝が不審をば世間の學者多分道理とをもう。いかに諫曉すれども日蓮が弟子等も此をもひすてず。一闡提人のごとくなるゆへに、先天台妙樂等の釋をいだしてかれが邪難をふせぐ。夫攝受折伏と申^ス法門は水火のごとし。火は水をいとう。水は火をにくむ。攝受の者は折伏をわらう。折伏の者は攝受をかなしむ。無智惡人の國土に充滿の時は攝受を前^キとす。安樂行品のごとし。邪智謗法の者多時は折伏を前^キとす。常^不輕品のごとし。譬へば熱時に寒水を用^ヒ寒時に火をこのむがごとし。草木は日輪の眷屬、寒月に苦をう、諸水は月輪の所從、熱時に本性を失^フ。末法に攝受折伏あるべし。所謂惡國、破法の兩國あるべきゆへなり。日本國當世は惡國か破法の國かとするべし。問^テ云^ク、攝受の時折伏を行^ハと折伏の時攝受を行^ハと利益あるべしや。答^テ云^ク、涅槃經云、迦葉菩薩白^ク佛言、〇如來法身金剛不壞。而未^タ能^ク知^ル所^ト因^ニ云^フ何。佛言、迦葉、以^テ能^ク護^ル持^ス正^法法^者因^ニ緣^ヲ故^ニ得^テ成^ニ就^ス。是金剛身。迦葉、我護持正法^ヲ。因^ニ緣^ヲ今^ニ得^テ成^ニ就^ス。是金剛身常住不壞。善男子、護^ル持^ス正^法法^者不^レ受^テ五^戒不^レ修^セ威^儀應^シ持^ス刀劍弓箭。〇如是種々說法。然故不能作^ス師子吼。〇不能降^ス伏。非法惡人。如^レ

①〔常不輕品のごとし〕一〇〇 ②〔答云〕一〇〇

是比丘不能自利及利衆生。當知是輩懈怠懶惰。雖能持戒守護淨行。當知是人無所能爲。乃至時有破戒者。聞是語已。咸共瞋恚。是法師。是說法者。設復命終。故名持戒自利利他等云云。章安云。取捨得宜。不可一向等。天台云。適時而已等云云。譬へば秋終に種子を下田畠をかえ(耕)さんに稻米をうるることかたし。建仁年中に法然・大日の二人出來して念佛宗・禪宗を興行す。法然云。法華經は末法に入ては未有一人得者千中無一等云云。大日云。教外別傳等云云。此兩義國土に充滿せり。天台眞言の學者等、念佛・禪の檀那をへつらい、をそるゝ事、犬の主にををふり、ねづみの猫ををそるるがごとし。國王將軍にみやつかひ、破佛法・因縁・破國・因縁を能説能かたるなり。天台眞言の學者等、今生には餓鬼道に墮、後生には阿鼻を招べし。設山林にまじわつて一念三千の觀をこらすとも、空閑にして三密の油をこぼさずとも、時機をしらず、攝折の二門を辨へずば、いかでか生死を離べき。問云。念佛者・禪宗等を責て彼等にあだまれたる、いかなる利益かあるや。答云。涅槃經云。若善比丘見壞法者。置不呵責。遣舉處。當知是人佛法中怨。若能驅遣呵責舉處是我弟子眞聲聞也等云云。壞亂佛佛法中怨。無慈詐親是彼怨。能糾治者。是護法聲聞眞我弟子。爲彼除惡。卽是彼

①〔涅槃疏云〕十壞 ②彼十〔人〕